

男女共同参画  
推進標語

尊重し 協力し合う 男女の輪

瀬崎 励れいさん(山)の作品

しょうらいのゆめ

# 将来の夢

future dream



生子菅小学校 4年  
木村 紗也さん

わたしのしょう来のゆめは、かんごしになることです。なぜかという病気やケガで苦しんでいる人達を助けてあげたいからです。また、わたしのお母さんは、かんごしをしています。人のために、一生けん命に働いているお母さんはとてもすてきです。お母さんはかんごしになりたいと思っただけで、いろいろな勉強をがんばってかんごしになろうと思いません。そして、たくさんの人を助けてあげられる、やさしいかんごしになりたいです。



# ばいばいお母さん

## 短歌

ちよきちよきと刈り込みばさみ軽やかに亡夫の力が込められており、長須野口 芳子  
【評】 亡夫を偲ぶ歌は数多いが、缺の軽やかな音によって、特色が出た。作者の現在の生活も落ち着きの戻ったことが感じられる。生前の夫が缺の手入れを良くやっていたのであろう。

栗の花長き花穂のゆらゆらと波のたつごと風に煽れり 沓掛 木村 愛子  
水たまり跳び越しそこね裾ぬらす過信する老い足の短かし 法師戸 大関 笑子  
がんばっぺの幟の褪せてあの惨事三年余過ぎて未だにおもし 沓掛 倉持かよ子  
おばちゃんよこれ俺の子と店に来た昔のヤンチャうれしなつかし 長須 倉持 春子  
極ぐねの門につつじのみぎひだりピンクのなかに春風吸ひたり 駒 内海 妙子  
空き缶を拾い集めて収集場帰るはいつも一人なりけり 逆 後藤 英雄  
「異常なし」検査結果に安堵しつつ夫と味わうコーヒー一杯 辺 風見 浩美  
ジャンボくじ高速バスで西銀座夢を求めて夢をみながら 長谷 滝本 和子  
窓を開け流れる風を受け入れれば鈴なり梅がほのかに香る 吉澤 ちか

## 俳句

睡るまで邪魔をしてをり雨蛙 借宿 木村 歌子  
【評】 雨が降り湿度があがると鳴き出す、といわれている雨蛙。その声には、どことなく郷愁さえ感じます。雨蛙の声をきき乍ら睡ることの出来るのも平和に暮らせる、ということでせう。

頼られて頼りて夏を過しけり 長須 吉沢とみ江  
燕の子路地に生れて路地を飛ぶ 岩井 斉藤 隆  
紫陽花の今日むらさきに一途かな 岩井 林 きよ子  
絵手紙の目高の泳ぎ一列に 矢作 茂呂 忠男  
十葉を孫に説きつつ刈りにけり 山 米島 欣司  
那珂川の迅き流れや鮎躍る 飯村 卓也  
薫風や初散髪は坊主刈 滝本 和子  
風鈴を鳴らして風の通りけり 倉持 春子  
夏つばめ母屋に納屋に宙返り 吉澤 ちか  
一面の青田の中の水の音 平田とみい

**短歌・俳句の作品を募集します！**  
皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。  
選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864  
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩井4633-1 ☎0297(35)1230